

第10号

有機健康 つうしん

松山ブランド新商品コンテスト
「NEXT ONE」

優秀賞を受賞しました。

昨年十二月二十二日に行われた、松山商工會議所主催の松山ブランド新商品コンテスト「NEXT ONE 加工食品部門において、優秀賞を受賞しました。

この賞は、全国に通用する製品の発掘や育成を目的に、松山商工会議所が平成十七年度より開催しており、今回で三回目を迎えました。工業製品部門に十四社、加工食品部門において十六社が応募していました。

今回、受賞した「五穀山海 パリッとまる」とは、油を使わずに作った発芽玄米のおせんべい。玄米を発芽させることにより高まつた栄養素を保ったまま、熱を加えて焼き上げることにより、食べやすく吸収されやすい食品に生まれ変わりました。お菓子感覚で玄米の栄養を摂る新しい健康食品です。油を使用しないので、カロリーも気にせずヘルシーな食品として、敏感なお子様から、若い女性にまで人気の食品です。



授賞式にて。



パリッとまるごと

松山ブランド新商品コンテストNEXT ONEホームページ
<http://www.jemccj.jp/sightseeing/nextone/jyusyolist/index.html>

食品に対する安全性の追及は、昨年発生した偽装問題、賞味期限改ざんなど、一連の食品不安からお客様の目も一層厳しいものとなつております。
今後も新商品開発を筆頭に、無添加、有機栽培、有機JASマーク表示など、皆様の安心につながる製品作りに努めてまいります。

遠赤青汁通信 (H20.4.1 発行)
国産・有機栽培のケールを無添加で青汁に加工しております。皆様に安心してお召し上がりいただけます。

遠赤青汁株式会社
〒791-0398 愛媛県東温市則之内甲2225-1
TEL フリーダイヤル 0120-148-162
ホームページ <http://www.enseki.com>



IT経営実践認定企業に選ばれました。

この度、弊社は経済産業省「IT経営力大賞」の中で、IT経営実践認定企業に選ばれました。

経済産業省は、わが国経済を支える中小企業のITの利用・活用に取り組む意欲の向上を図ることを目的とし優れたIT経営を実践しつつ、他の中小企業がIT経営に取り組む際の参考となるような中小企業についてその功績を表彰する「中小企業IT経営力大賞」を平成十九年度に創設しました。
今回の応募総数は四百二十九社。厳正なる審査の結果、IT経営の実践内容が企業内最適化を図っている等の一定水準以上と認められる企業が、「IT経営実践認定企業」として認定されました。認定企業は百三十九社。愛媛では二社しか選ばれていません。

弊社は平成十八年度「IT経営百選最優秀賞」受賞以来、IT経営実践に努めてまいりました。四国におけるIT活用の推進役として経済産業省が推進する「IT経営応援隊」にも積極的に参加し、県内外で事例発表など自社の取り組みを紹介させていただいております。

経済産業省でも本年度からは、農業支援を打ち出しており、農業を主体とした弊社のIT経営はますます注目されるところです。今後も、こうした挑戦を続けることにより社内のIT整備を推進し、お客様サービスにつながる環境作り等、社会に認められる水準を維持し、IT経営に取り組んでいきたいと思っております。

一月の「えひめ産品 海外バイヤー商談会」では、チニジア大使が来松。懐かしい顔に出会い、またさくらの話題に花が咲きました。さくらを通じて多くの方々と出会い、ふれあいを感じながら、世界へ平和の願いを届けています。



国際学会で発表されました!

遠赤青汁は原料のケールや遠赤青汁V1に関して、人体へのエビデンスを中心に大学と共同研究を進め、学会で発表しています。

■第14回日本未病システム学会学術総会 (2007.11.1~2)

■第37回日本臨床神経生理学会学術大会 (2007.11.21)



農地再生に

挑む

元気な土を育てます。

秋口から、冬場にかけて圃場の整備は、継続的に行われます。ケーラーの収穫合間を縫つて、将来の有機圃場となる農地に堆肥を入れていきます。

有機堆肥、鶏糞などが、通称トン袋と呼ばれる袋で降ろされていきます。

有機堆肥は牛糞、豆ガラ、藁、糀がら、おがくずなどを材料とし、EM菌などで発酵し、三ヶ月の時間をかけて攪拌され熟成していきます。熟成された有機堆肥をさらに土に混ぜ、何度も耕耘することで一層の熟成を重ね、土の元気が育ちます。

圃場は年々広がりを見せ、今では九万二千平方メートルになりました。圃場は、有機認定を受けるまでに、転換期間中の申請を行い、その上で整備を統一、作付けも行いながら有機圃場認定を目指します。常に休まず作り続けることが必要です。

毎年増え続けている農地を、一年中様子を見ながら、堆肥を入れる時期を決め、収穫を行う時期を決めていきます。農地に休みはありません。

遠赤青汁では、農薬の飛来を防ぎ、有機栽培を徹底するために、冬の時期に限定してケーラーを育て、収穫しています。

冬の何日か、どうしても雪が降るなど気象条件で圃場に入れないことがあります。お休みらしい休みはその時くらいででしょう。

土の元気を育て、その土に支えられながら、おいしいケーラーを収穫できる。毎日の作業の中で、ケーラーと正面から向き合うことが生産者としての自信に繋がっているように感じます。

国産の品質の良さを貫き、外国産原料の安さに負けない、皆様に安心してお召し上がりいただけるケーラーづくりに今後も務めてまいります。



作業の間にちょっとお茶に・・・
(喫茶店の駐車場に収まるトラクター)

木下さんの
やうきの話

～国産を食べよう～



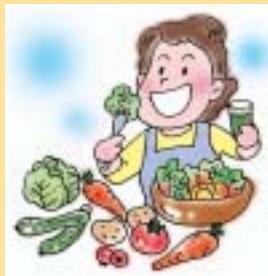
トン袋は、ユニークで釣りあげられ下していく。袋の重さから、支えていないと車が傾き危険危険！



袋から出された堆肥が並べられ、広げられています。広げていくのは人力です。



大きなトラックを入れると沈んでしまうので、軽トラックで近くまで運びます。一袋乗せると、荷台が一杯になってしまいほど、トン袋の中身は大量です。



遠赤青汁の有機の青汁はほんまものですよ。
木下

日本人なら
日本の野菜
食べたいね

一般的に出回っている青汁は、海外からの輸入のものが多めで、コスト面などで国産素材が少なくなっています。今年はじめに起こった中国原料の問題など、食品の素材も国産が見直されていますが、まだまだ値段的なものに差があるようですね。本当に体に大丈夫なものを、安心して召し上がっていただきたい。できれば、日本の皆様には日本の有機栽培を信じて食べていただきたい。私たちの毎日の作業は、そうした思いがつながっています。

収穫は八人位で行います。収穫されたケーラーをキロづつキャリィと呼ばれる箱に詰め、工場へ運びます。その数は一日で約六百～八百個。一枚一枚がすべて手作業でちぎられたもの。ケーラーをやさしく収穫するには手でちぎるしか方法はありません。冷たい雨の中でも、風で体を冷やしながらも、皆で毎日がんばっています。圃場で働く皆は、とても元気です。青汁のおかげだと感じています。

異常気象とも言うべき、あの暑い夏が過ぎたかと思うと今度は厳しい冬がやってきました。ケーラー畑も雪化粧で真っ白になりました。それでも、生命力の強いケーラーは雪の下ですくすくと育ちました。今では大きな葉を何枚もつけて収穫を迎えています。

EVENT



大勢のお客様に来場していただきました。



立派なケールの鉢植えに、お客様の関心も集中します。

遠赤青汁ではお客様とのふれあいを通して
もっと青汁の良さを知っていただけるよう
様々なイベントを行っています。

「食品開発展」ではケールの鉢植えも展示。
今までケールについてお話をさせていただきましたが、本物を知らないとピンと来るお客様も少なかったように思います。実際に見て、触つていただくことにより、しっかりとしたケールの葉の厚みにビックリされる方も。中には葉をちぎって持ち帰る方まで現れました。これからも有機野菜ケールのすばらしさを皆様にお伝えし続けたいと思っています。

昨年秋は「東京ビジネスサミット」（二〇〇七年十月）と「食品開発展」（二〇〇七年十一月）に出展しました。

東京ビッグサイトで開催された
「東京ビジネスサミット」、
「食品開発展」に出展しました。

展示会に出展

商談会に出展

大阪産業創造館で開催された
「健康関連商談会」

（二〇〇八年一月）



バイヤーを前に遠赤青汁をアピールする天羽



四国八十八箇所・二十四番札所 最御崎寺 (高知県室戸市)



この札所一帯を訪れたのは5年前。6月には珍しい台風のあと、台風一過の青い空から南国の太陽が照り付け、ものすごく暑かったのを覚えています。

二十三番薬王寺から高知県最初の札所最御崎寺までは約85km。歩き遍路は太平洋岸を3日ほどかけて歩き続けます。歩いてもその日に次の札所へたどりつけない、ただひたすら自分と向き合う修行の日を迎えます。

高知県室戸岬周辺は、若き弘法大師修行の聖地として多くの遺跡を残しており、最御崎寺のふもとにある御厨人洞（みくろどう）もそのひとつです。ここで真言を100万回唱えるという修行を達成した瞬間、明け方の空から明星が大師の口の中に飛び込んできたという自身の記述も残っており、空と海を輝かせる宇宙の姿から「空海」と名乗るようになったとも伝えられています。

御厨人洞（みくろどう）▶



東温市コミュニティブログ



2008年1月、遠赤青汁のある東温市に、
コミュニティブログ「町ぶろ」が誕生しました。

地域の良さを、愛媛県内外へ発信する地域の情報基地として、市民の皆様にご利用いただいております。弊社はメインスポンサーとして、町起こしを考える地域団体総合型地域スポーツクラブ「川内さくらクラブ」を応援しています。ブログでは、弊社担当者による遠赤青汁のページも作成。日々の囲場の動きなど、ご紹介しています。

※ブログとは? Web log (ウェブロゴ) の略された造語で、インターネット上でホームページよりも簡単に設置でき、無料で始められることから、新しい表現方法として若者を中心に入気を呼んでいます。



パソコンではじめる
仲間づくり、町づくり!



ケールは一石三鳥

私には2人の子供がいます。長男はもうすぐ3歳になり、長女は今月で7ヶ月目になります。長女は生後6ヶ月間、母乳だけで育ててきました。最近やっと離乳食を始めたばかりです。

母乳だけで育てる場合、乳児の栄養は完全に母乳に依存することになります。そのため母親が健康的なライフスタイル、特に食生活を注意することがとても重要になります。

母乳をたくさん出すためには、野菜や穀類を中心とした食事をとることが大切で、動物性タンパクを避けて、植物性タンパクの食品を取り入れるように心がけています。また食事の他に十分な睡眠と精神的なストレスを避けることも大切です。

我が家では食事のバランスを考え、遠赤青汁V1を愛用しています。母親が飲むことで、普段不足しがちな緑黄色野菜をとることができ、母乳もたくさん出て乳児に良い母乳栄養を与えてているように感じます。まさに一石三鳥です。

離乳食を始めた近頃は、粉末タイプの遠赤ケールをおかゆの中に、スプーン半分くらいを混ぜて与えています。いつも長男に泣かされている彼女ですが、ご飯の時間になると上機嫌。ニコニコしながら、すごい勢いで食べています。

今年になり中国産原料の問題など起こり、「食の安全性」について深く考えます。安心で安全なものを家族に食べさせたいと思うのは、皆同じ気持ちだと思います。国産、有機栽培の遠赤青汁で我が家は今日も元気いっぱいです。

愛媛県 近藤さま

おたより広場 にメッセージをお寄せください!!

〒791-0311 愛媛県東温市則之内甲2225番地1
遠赤青汁株式会社

有機健康つうしんおたより広場 係あて mail;aojiru@enseki.com

※お寄せいただいたお便り等は、その他の目的で使用することはありません。

